

なにわ名物 開発研究会 NEWS

<第9号>

2002年1月24日発行

発行
なにわ名物開発研究会

〒542-0076
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
TEL・FAX 06-6213-5554

「まちブランド」「ほんまもん」をキーワードに 大阪の誇りを取り戻そう



一四〇〇年もの昔、日本で一番古い都である「なにわの宮」跡という由緒ある地に「大阪市立歴史博物館」が昨秋オープンしました。観覧の機会があり足を運んだのですが、館内を一巡した時、私た



野杵育郎
代表幹事

ち大阪人が失いつつあるもの、失ってしまったものがどうもたくさんあるように思えました。新年にあたり、鼻厘の引き倒しではなく、率直に「大阪の誇り」を取り戻したい、と思うのです。

「たこ焼き」「たこ船」などが大阪を貶めるシンボルのように悪者扱いされることもままあります。どちらにも関わっている立場から抗弁すれば「そんなこと大筋とは関係ない。なにわの歴史も、近世大坂も、モダンシティ・オオサカも意識したうえで、粋の世界。たかが、たこ焼きにここまでこだわる大阪人の奥深さ」と、開き直っています。「まちブランド」「ほんまもん」こそが、いま大阪が求めるキーワードです。「大阪・なにわの失われたもん事典」を編纂して、盛り場を「誇り場」と復活させるのは我々のパワーでと、なにわ名物開発研究会の活動はい

よいよ時代の波にのっていきます。

近頃は「大阪」イコール「ミナミ」のイメージが強いです。しかしながら、この「ミナミ」も「道頓堀」に押され気味だそう。ユニバーサルスタジオジャパンにあるホテル関係者によると、大半の宿泊客が「道頓堀へ行きたいのですが、どう行けばいいですか」とたずねるそうです。「道頓堀スタジオジャパン」なる「まちづくり会社」を作り、ミナミ・大阪の活性化を願うものとしては、その部分だけ考えても時代の先端を行っている、と自負してみたり…。

しかしながら大阪は「ミナミ・道頓堀」だけではありません。京都より古い歴史都市・なにわには緑濃き上町台地・七坂、天満の天神さん、中之島の水都景観、下町情緒の野田、淀川べりの十三、環濠自治都市のなごりを持つ平野：市内だけでも魅力は二十四面相を越す様相で、摂津、河内、和泉と府下をたずねれば百面相でも語り尽くせません。

さあ、あなたも「なにわのまち」の誇り場再生の主役、それとも名脇役になりませんか。ぜひ、私たち異分野ネットワーク「なにわ名物開発研究会」の仲間になって、いちびり、はんなりやってみませんか。

懸案の新規事業「なにわファン倶楽部」も立ち上がり「NANIWAブランドプロジェクト」もその基本計画案が間もなくペールを脱ぎます。なにわ名物開発研究会は、今年も皆様の期待を担ってがんばります。

News&News

六月度 (二〇〇一年八月二十八日)

講師は漫画家で演芸評論家としても知られる高信太郎さん。「おもろい韓国人・おもろい日本人」と題して韓国の現状と、日韓の交流を歴史的にふまえた話でまとめていただいた。両国の関係の深さを再認識した次第。懇親会は当日の会場でもある焼肉「大阪屋」で韓国の食文化を堪能した。

八月度 (二〇〇一年八月二十四日)

話題のユニバーサル・スタジオ・ジャパンとUSJ駅を結ぶショッピング街「ユニバーサルシティウオーク大阪」の五階にあるベトナム料理の店「CELADON ON」でのビアパーティ形式の交歓会。大いに盛り上がり、夏バテ解消にも一役買いました。



月例会報告

九月度 (二〇〇一年九月十九日)

大阪産業創造館で行った。「IT活用による関西経済活性化」という時節柄ホトで内容の濃いものでした。講師は日本IBM勤務で、社団法人関西経済連合会・関西IT戦略会議事務局長の一木計男さん。わかりやすくかつ妥協しない内容で、まさに蓮の葉が一枚一枚開いてゆき、いつの間にか池を埋めつくすような勢いのあるITとマーケティングの実状を熱く語られる姿に感銘しました。

十月度 (二〇〇一年十月二十九日)

今回も大阪産業創造館で開催。講師は会員でもある株式会社ムーブの原テルキ



さん。「なにわブランド」のプレゼンテーションをパソコンを駆使して実施、なにわの再活性化は我々が今後深くかかわって行かねばならない足元固めの話であり、その展望は広く日本経済全般に及ぶ気宇壮大な内容でした。NHKテレビの取材もあり会員同士の意見交換、会社紹介も行われるなど真剣な議論が夜遅くまで繰り広げられました。

十一月度 (二〇〇一年十一月二十一日)

この日は記念すべき日となりました。一泊の親睦会を兼ねて滋賀県長浜市を訪問、株式会社黒壁社長笹原司郎さんの話を聞き、その後黒壁スクエアを見学、夕食は滋賀の郷土料理をいただきました。笹原さんは日本全国から視察に来るほどの「まちづくり」の成功者。まちづくり



の大変さとおもしろさ、息の長い取組み方とノウハウなど学ぶべき点の多い貴重な一日となりました。

十二月度 (二〇〇一年十二月十八日)

とうとうやってしまった船上タコ大会。例のオクトパス(タコ船)を借り切り、会員交流及びタコ焼き&ビールパーティで一年の垢?を落とそうという遠大な企画です。タコヤキストの熊谷真菜さんを講師に、たかがタコ焼きされどタコ焼き、だってタコ焼き、そしてタコ焼き、もつとタコ焼き:の二時間余でした。いちばん活躍されたのは株式会社アルスの「たころんぼう」さん。ボランティアでタコ焼きを焼き続けてくれました。この場を借りていま一度お礼もうしあげます。



なにわファン倶楽部始動

全編大阪弁のなにわ情報『なにわ探検隊』もう見ていただけましたか。野村副代表を中心にした、なにわ名物開発研究会の兄弟組織として「なにわ」のいいところをひろく全国、世界中の皆さんに知ってもらいたいと発足したなにわファン倶楽部のまず第一歩の仕事である創刊号『なにわ探検隊』が好評発刊中です。年に三回の発行ですから、早くも二号にとりかかり三月には発行の予定だそうです。なにわの魅力を「見た」「聞いた」と発表したい人、な

にわが好きな人なら大歓迎でどこに住んでいる人でも会員になれます。会費は年に三〇〇〇円（一人分）です。申し込みは、はがき・FAX・Eメールでも受け付けます。細かいことは左記にお問い合わせください。

問い合わせ／大阪市浪速区元町二丁目四番二
二号ロアジール難波六〇八「なにわファン倶楽部」まで
TEL (06) 6635-1733
FAX (06) 6635-1734
Eメール / club@naniwa-mebutsu.com

なにわ探検隊
NANIWA EXPEDITION

第1号 (創刊号)

タコ船
タコ船スズキ

船内では19番目のアトラクションもありませ!

ピカピカの創刊号です

商品開発部会

「商品開発部会って何してんのん？」の質問におこたえします。モノ作りに興味のあるイッチョカみが集まって、「ア〜でもない、コ〜でもない」とワイワイやりながら、「何かおもしろいモン作ろーやあ」とガヤガヤと楽しく集まっている部会です。商品開発の事業をされている会員さんにとっては、開発のヒントをつかんで戴き、それ以外の会員さんには自分のアイデアが商品になり色々なところで売られている楽しさを味わう部会です。決してカタイ頭で参加する部会ではありません。ただただワイワイとやるだけです。そのワイワイに開発のヒントがたくさんあつたりするんです。商品開発にかかわっていない人達の意見が大切です。開発の方法も覗けます。ぜひ一度ご参加ください。

〈重要連絡事項・要し確認〉部会内での「アイデアのやりとり」に関し費用の請求・受取りは一切ありません。そのアイデアで大儲けをされても、ただ羨ましいだけです。

会員交流部会

皆さんこんにちは。会員交流部会部長を仰せつかって松本です。私たち会員交流部会は、木村副代表のもと個性溢れるメンバー若干名で活動中です。部会の目標に「各社のビジネス交流の推進」を掲げ、具体的には大阪ギフトショーのような展示会に積極的に参加することで対内、対外のビジネスチャンスをお各社各位に提供しています。

異業種交流会と言うものは顔つなぎ程度でなかなか仕事上のパートナー発見までには行き着き難いものですが、「なにわ名物開発研究会」ではあえて「商売」に注目し、このお世かけいな事業に前向きに取り組んでいます。「貴方の成功が私たちの喜びです」を合

FROM 部会

言葉としてギブ&ギブ精神でLDプロگرام実践を会員交流部会で目指しております。皆さんも会員交流部会で新しい出会いをつかみませんか。部会メンバーを募集しております。月1回程度の部会参加とM.L登録可能な方を望んでおります。松本まで気軽に声をかけてください。

Eメール matsui@dsnrw.jp

総務部会

総務部会の今期のテーマは「活気のある所、人、物と触れ合って自分も今以上に活気のある人になり、楽しくやりましょ〜」です。月例会の設定、ホームページの更新などをすすめています。嬉しいことにホームページを見て月例会に出席いただき、ご入会という例も多くなってきました。今後とも会員の皆様からのご要望やネットワーク情報を各部会、事務局との連携で、より多く有効に活用していただけるよう活動していきます。

広報部会

なにわ名物開発研究会の活動への注目がやまらず昨今です。この機関紙発行を通じて会の活動を紹介する大事な役割を果たしているのが広報部会です。リアルタイムの情報http://www.naniwa-mebutsu.com)、読み手と書き手のフィードバックを考えた紙媒体ならではの活動報告はこのNEWSで、いつもペンとカメラを片手に(総務部会や事務局長が)走っています。いただいた玉稿を整理、校正するのが主な活動ですが、本当は独自の企画編集も可能な集団です。自社のPRの方法も一緒に勉強しながら機関紙を通じて実践して行きましょ〜。

会員紹介 へなにわ名物づくりに頑張ってます

印刷全般、とくにシュリンク加工はわが社に
有限会社 サムネット

印刷関係一式すべてお任せください。Macによるデザイン、版下、製版、印刷、加工およびアドバイザーを行っています。画集、カタログ、会社案内、パッケージ、シール、連続伝票、事務用品、ポスター、チラシ、箔押加工、シルク加工、単品ポスター（一枚でも可）看板、ビニール袋印刷などご用命を。特にお勧めはシュリンク加工（包装加工）。Mac、Win等のソフトのパッケージ仕上げ（店販用）包装。一般店販用シュリンク仕上げのご相談にも応じます。

大阪市中央区上本町西1-2-14
第三松屋ビル774
☎06(6768)4007



キャラクターデザインはおまかせ
株式会社 マインドウエイブ

私共マインドウエイブは、日本のファンシー業界で一、二を争うメーカーです。特にキャラクターデザインの開発能力は非常に評価が高く、シール、便箋等ファンシー商材を自社開発し、直販大手量販店、卸問屋販売で実績を残しています。一方で自社開発キャラクターのライセンス販売を展開し（現在の一押しキャラクターは「ウサコフレレンズ」です）有名企業のキャラクタービジネスやコンテンツビジネスに採用いただいています。本年三月に東京渋谷109、七月には町田の109新店にウサコレショップを直営オープン予定です。是非とも大阪発のキャラクター「ウサコフレレンズ」をよろしく願います。

大阪市中央区島之内1-21-19
協和島之内ビル7階
☎06(6243)8448



「おいしいもの」を扱って五〇年
株式会社 ヤマカワ

創業五〇周年になる「ヤマカワ」は美味しい物だけしか扱いません！なにしろ、これだけ物の多い世の中、大阪商人たる者、味にこだわってなんぼ、質にこだわってなんぼ、値段にこだわってなんぼの世界。きびしい目で選ばなお客様も見向きもされません。また、卸だけでなく他にも幅広い商いをしている「ヤマカワ」は多くのお客様に共感、信頼をしてもうとります。生産する人が作る「ええ商品」を世の中いっばい広めるのが夢であり、みんなにわかって貰いたい。「おいしい」ものを「おいしい」ゆうて貰いたい。それが「ヤマカワ」の考えです。「ええもん」どんどん買わして貰いまっせ。

大阪市福島区吉野4-26-9
☎06(6461)6668



新入会員紹介

〈正会員〉

ノスタルジア・ミュージアム
木下昭子/玩具展示・販売、イベント企画等
サムネット

田中正雄/印刷関連、デザイン・版下作成等
トレイディングインターナショナル
田中敏和/輸入雑貨の卸、小売

ヤマカワ
山川謙治/食品卸売業

マインドウエイブ
高田雅夫/ファンシー文具・雑貨製造販売

〈個人会員〉

山口雅弘/北堀江やまぐち（料理旅館）

大平祐司/企画デザイン印刷

灰谷 幸/コピーライター

部会活動などにお使いください



なにわ名物開発研究会の事務所が中央区大手前に移転したのをご存知ですか。国際集客都市大阪のシンボルとなる企業や商品を効果的にアピールする有意義な情報交換の場として、会合や打ち合わせなどを行っています。お近くに来られた際は是非お立ち寄りください。

新事務所

大阪市中央区大手前1-

3-62

大手前ビル4F(403)